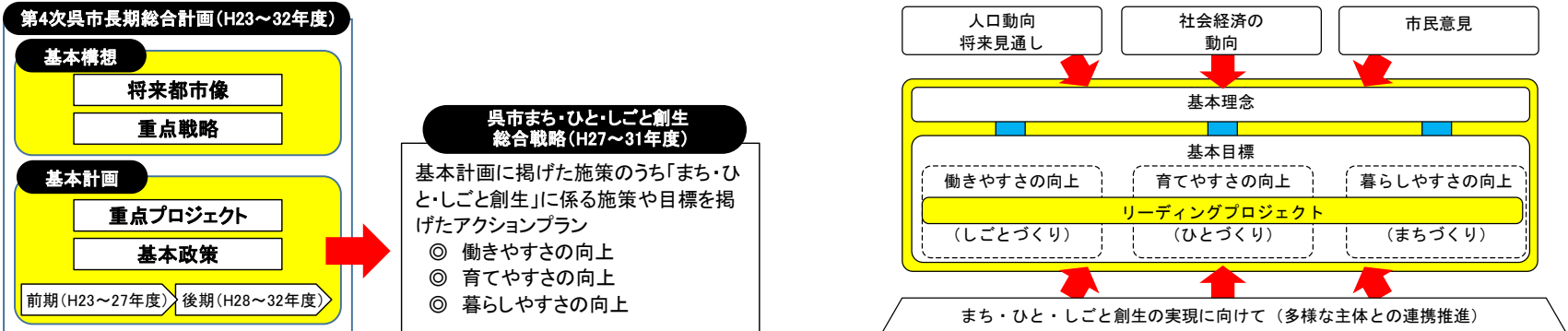


呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の概要

1 策定の趣旨等

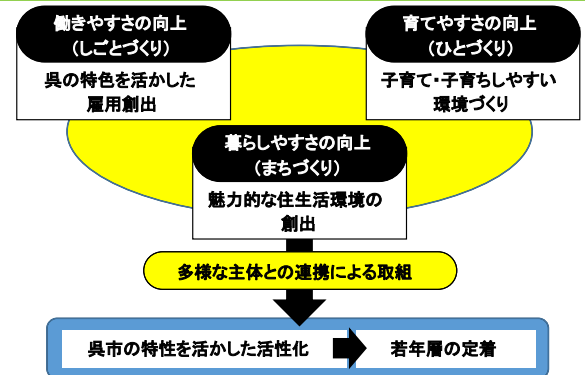
少子高齢化の更なる進展に伴い、社会・経済を支える人口構造の改善が求められる中、特色ある地域資源を活かした新たな魅力・価値の創造による雇用創出や子育て・子育てしやすい環境づくり、魅力的な住生活環境の創出などを通じて若年層の市内在着や出生数の増加を図り、人口減少を抑制することにより、将来にわたり豊かで活力あふれるまちづくりを推進するため、**呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略**を策定します。



2 基本理念

呉市の人口減少の最も大きな要因は、若年層の社会減（人口流出）にあります。若年層は、呉市の産業や消費、地域づくりを支える重要な存在であり、このまま減少が続くと、にぎわいの低下が避けられません。若年層の減少に歯止めを掛け、新たな活力を創造することが、呉市のまち・ひと・しごと創生（地方創生）を進める上での最重要課題です。

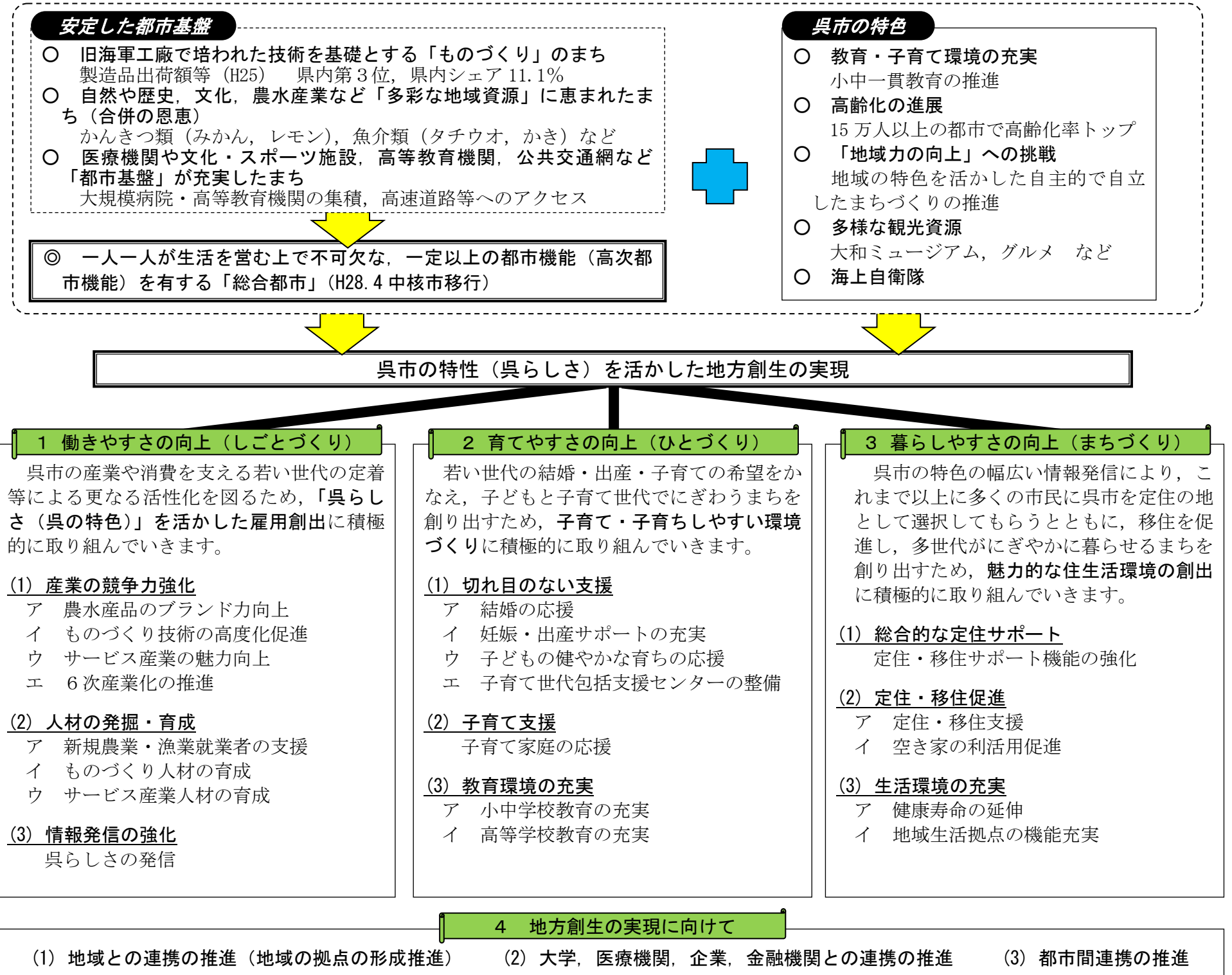
このことから、「若年層の定着～若者が集い、にぎわうまちづくり～」を基本理念に据え、若年層をターゲットとした「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」に特に力を入れることにより、**呉市の特性（呉らしさ）を活かした地方創生**を目指していきます。



3 具体化方策 ～呉らしさを活かした地方創生の実現に向けて～

呉市は、「ものづくりのまち」であると同時に、「多彩な地域資源に恵まれたまち」「都市基盤が充実したまち」であり、一人一人が生活する上で重要な、一定以上の都市機能（高次都市機能）を有する「総合都市」と言えます。また、「教育・子育て環境の充実」「高齢化の進展」「『地域力の向上』への挑戦」など、他都市には見られない呉市の特色も兼ね備えています。

こうした安定した都市基盤や多くの特色が「呉市の特性（呉らしさ）」であり、「呉らしさ」を最大限活かした地方創生に積極的に取り組んでいきます。



1 働きやすさの向上（しごとづくり） ～呉らしさ（呉の特色）を活かした雇用創出～

1 趣旨

呉市の人口の社会減の最も大きな要因は「仕事を理由とする転出超過」にあり、特に若年層（20～30歳代）においてその傾向が顕著となっています。産業や消費を支える若い世代の定着等による更なる活性化を図るため、呉らしさ（呉の特色）を活かした雇用創出に積極的に取り組んでいきます。

2 「呉らしさ」を活かした雇用創出の方向性

(1) 推進方針

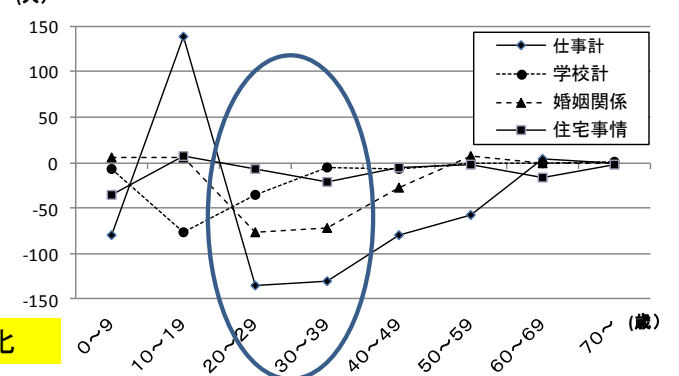
呉市の産業構造の特性に応じた施策を展開することにより、先人が築き上げた産業技術の継承・発展と新たなニーズを踏まえた産業基盤の底上げを一体的に図り雇用を生み出す都市を目指します。

その具体化方策として、「産業の競争力強化」「人材の発掘・育成」「情報発信の強化」の三つの視点を念頭に置きながら、産業や地域の特色を踏まえた多角的な雇用創出に取り組んでいきます。

「呉らしさ」を活かした雇用創出

= 産業の競争力強化 + 人材の発掘・育成 + 情報発信の強化

図1 年齢別理由別転出超過数（平成25年度）



(2) 具体化方策



「呉らしさ」を活かした雇用創出 → 20～30歳代の「仕事」理由の転出超過数 3分の2改善

2 育てやすさの向上（ひとづくり） ～子育て・子育てしやすい環境づくり～

1 趣旨

呉市の人口の自然減の大きな要因は、「非婚化・晩婚化の進展」、「若年女性の減少」と、それに起因する「出生数の減少」にあります。若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもと子育て世代でにぎわうまちを創り出すため、子育て・子育てしやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

2 子育て・子育てしやすい環境づくりの方向性

(1) 推進方針

結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援の強化・充実をさせる施策を展開することにより、若いうちに結婚を考え家庭を持つ気運を醸成するとともに、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる都市を目指します。

その具体化方策として、「ライフステージに応じた切れ目のない支援」、「子育て支援」、「教育環境の充実」の三つの視点を念頭に置きながら、多様な主体の協働による子育て・子育てしやすい環境づくりに取り組んでいきます。

子育て・子育てしやすい環境づくり = 切れ目のない支援 + 子育て支援 + 教育環境の充実

(2) 具体化方策



3 暮らしやすさの向上（まちづくり） ～魅力的な住生活環境の創出～

1 趣旨

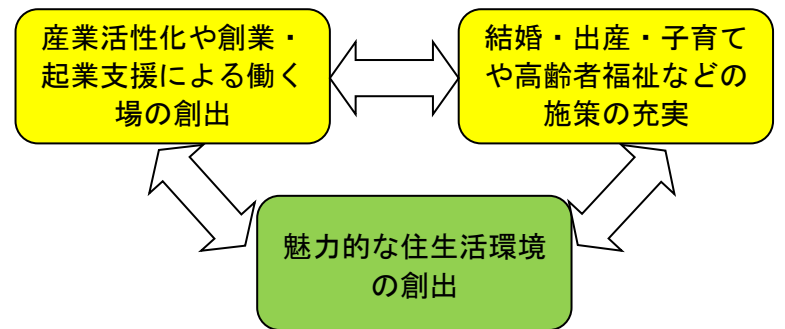
呉市の人口の社会減の要因の一つに「住宅事情を理由とする転出超過」があり、より良い住宅・居住環境を求めて近隣都市へ転居するケースが多くなっています。また、他地域からの移住による「転入増」を図っていくことも重要です。

温暖な気候や自然、歴史、文化、充実した都市機能など、呉市の特色の幅広い情報発信により、これまで以上に多くの市民に呉市を定住の地として選択してもらうとともに、呉市への移住を促進し、多世代がにぎやかに暮らせるまちを創り出すため、働く場の創出や子育て・高齢者支援施策などとも連携した魅力的な住生活環境の創出に積極的に取り組んでいきます。

図1 呉市の人口動態

年度	世帯数	人口		自然動態			社会動態			高齢化率
		増減	出生	死亡	増減	転入	転出	増減		
H17	112,473	255,028	▲1,837	1,854	2,950	▲1,096	8,946	9,687	▲741	25.8%
H18	121,787	252,939	▲2,089	1,800	2,918	▲1,118	8,616	9,587	▲971	26.6%
H19	113,222	251,008	▲1,931	1,866	3,091	▲1,225	8,792	9,498	▲706	27.3%
H20	113,343	249,212	▲1,796	1,875	2,881	▲1,006	8,077	8,867	▲790	28.0%
H21	113,168	247,168	▲2,044	1,873	2,917	▲1,044	7,731	8,731	▲1,000	28.6%
H22	112,632	244,714	▲2,454	1,863	3,119	▲1,256	7,073	8,271	▲1,198	29.0%
H23	112,203	242,252	▲2,462	1,793	3,067	▲1,274	6,882	8,070	▲1,188	29.9%
H24	118,830	239,401	▲2,851	1,721	3,119	▲1,398	7,054	8,507	▲1,453	31.0%
H25	113,816	236,856	▲2,545	1,690	3,135	▲1,445	7,105	8,205	▲1,100	32.0%

図2 暮らしやすさの向上に向けた施策の連携



2 魅力的な住生活環境創出の方向性

(1) 推進方針

「我が家」という夢を持つ世代が、呉市でその希望を実現したいと思うような施策や、呉市での暮らしを希望する市外住民が安心して移住することができるような施策を展開することにより、多くの人に定住の地として選ばれる都市を目指します。

その具体化方策として、「情報発信・総合支援」「定住・移住促進」「生活環境の充実」の三つの視点を念頭に置きながら、定住・移住がしやすい環境づくりに取り組んでいきます。

魅力的な住生活環境の創出 = 総合的な定住サポート + 定住・移住促進 + 生活環境の充実

(2) 具体化方策

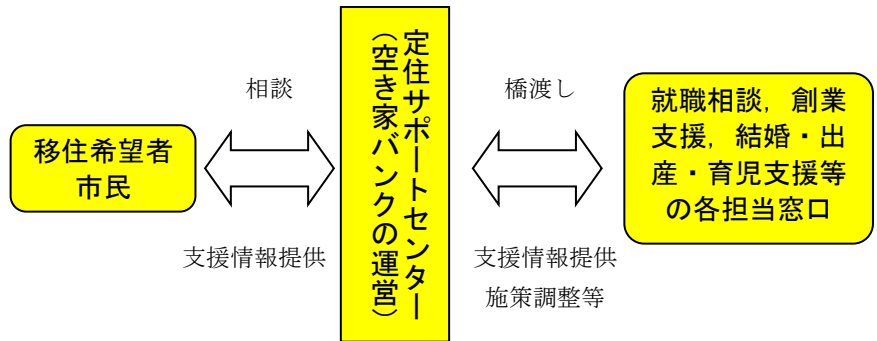
定住・移住サポート機能の強化

定住サポートセンターの充実

民間事業者（宅建業者等）や庁内関係部署等との連携を強化し、定住・移住を支援する定住サポートセンターの総合窓口化により、定住・移住希望者への情報提供や相談体制の充実を図っていきます。

- ・ 定住・移住支援情報の発信
- ・ 定住・移住者の総合相談窓口の充実

定住サポートセンター問合せ件数
H27～H31：1,000件



定住・移住促進

定住・移住支援

ア 若年層の住宅取得等への支援

若年層が市内で住宅を取得しやすいよう支援することにより、定住人口の増加に結び付けていきます。

- ・ 子育て世帯の定住支援（中古住宅取得支援、親世帯との近居支援）

イ 移住希望者への移住促進支援

移住希望者のニーズに即した住宅の取得等を支援することにより、市内への転入者の増加に結び付けていきます。

- ・ 移住希望者の住宅取得支援（中古住宅取得支援、子育て世帯支援、親世帯との近居支援、島しょ部移住支援）

若年層の住宅取得件数 H28～H31：200件

生活環境の充実

健康寿命の延伸

地域ぐるみの健康づくりの推進

少子高齢化が更に進展する中、地域ぐるみの健康づくり活動や地域包括ケアシステムの構築などにより、全ての市民が心身ともに健康で元気な状態を長く維持することができる「健康長寿日本一のまち」を目指していきます。

- ・ 地域総合チーム医療の推進
- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 呉市版CCRCの検討
- ・ スポーツを通じた健康づくり 等

平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

空き家の利活用促進

ア 空き家バンクの充実

市内の空き家の実態を把握し空き家バンクへの登録を促進することにより、空き家ストックの充実と危険住宅への移行抑制を図っていきます。

- ・ 空き家実態調査、所有者意向調査
- ・ 空き家バンクへの登録促進

イ 空き家の利活用支援

定住・移住希望者等による空き家バンク登録物件等の利活用を支援することにより、空き家の流通促進と定住・移住人口の増加に結び付けていきます。

- ・ 空き家家財道具等処分支援
- ・ 学生シェアハウス支援 等

空き家バンク登録物件の成約件数 H27～H31：70件

地域生活拠点の機能充実

ア 地域協働によるまちづくりの推進

地域住民が主体となって取り組む「特色ある地域資源を活かした地域の活性化」や「地域固有の課題の解決」を支援することにより、地域の「つながり」や人々の心の「絆」を育む「安心して暮らせる地域づくり」を促進していきます。

- ・ ゆめづくり地域協働プログラムに基づく自主的で自立した地域活動の支援

イ 公共交通ネットワークの確保

公共交通における乗り継ぎ時の負担軽減、移動円滑化等利用環境の充実を図ることにより、効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築を目指していきます。

- ・ 公共交通の運行支援

まちづくり委員会等が取り組む新たな課題解決への取組件数
H27～H31：20件

魅力的な住生活環境の創出 → 呉市を住みよと感じる市民の割合 H26：70% → H31：80%

4 地方創生の実現に向けて ～多様な主体との連携推進～

1 趣旨

地方創生の実現に当たっては、民間が持つ力を最大限に活かしていくことが極めて重要です。

市民や地域、大学（高等教育機関）、医療機関、企業、金融機関などが持つ特性（強み）を活かしながら、地方創生に向けたより良い成果を生み出すことができるよう、積極的に後押ししていきます。

2 地方創生の実現に向けて

(1) 地域との連携の推進（地域の拠点の形成推進）

身近な地域で住民の生活に必要な生活サービス機能を確保するとともに、にぎわいを創出することができるよう、多様な主体との連携による地域の拠点づくりを推進します。

ア 地域活動団体との連携

自治会や女性会、民生委員児童委員協議会、まちづくり委員会等の様々な地域活動団体と連携しながら、「特色ある地域資源を活かした地域の活性化」や「地域固有の課題の解決」に取り組んでいきます。

イ ボランティア・NPO団体との連携

子育て支援や高齢者福祉など、様々な分野で活動するボランティアやNPO団体と連携しながら、これらの団体等が持つ特性（専門性、迅速性、柔軟性など）を活かした課題解決に取り組んでいきます。

ウ 地域おこし協力隊の活用

人口減少・少子高齢化の進展が著しい過疎地域の活性化に取り組む意欲のある若者を「地域おこし協力隊」として受け入れ、新たな視点や若い世代の行動力を活かし地域の活性化を図っていきます。

(2) 大学、医療機関、企業、金融機関との連携の推進

行政が関与しにくい専門的な分野について、大学や医療機関、企業、金融機関との連携により取り組んでいきます。

ア 大学（高等教育機関）との連携

包括連携協定等に基づき、大学（高等教育機関）が有する専門性を活かしながら、福祉・医療やものづくり、スポーツなどの施策（市民向け講座等）を連携して実施することにより、市民の知的意欲や知識の向上を支援していきます。

イ 医療機関との連携

呉市の恵まれた医療環境を最大限に活かしながら、健康づくりや子育て支援などに係る施策を連携して実施することにより、市民の健康づくりの推進や妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を充実させていきます。

ウ 企業との連携

呉市の産業が持つ多様な技術や魅力を広く情報発信するとともに、これらを活かした就職支援や地域づくりへの参画を連携して実施することにより、産業（企業）の認知度を高めるとともに、市内就職の促進を図っていきます。

エ 金融機関との連携

包括連携協定等に基づき、金融機関が有する専門的なノウハウや情報、ネットワークを活かしながら、創業にチャレンジする企業等への支援や定住・移住支援などに連携して取り組むことにより、企業の更なる成長や定住・移住促進を図っていきます。

【複数の主体によるコラボレーション】

「技術系高等教育機関とものづくり企業」や「医療系高等教育機関と福祉・医療機関」、「高等教育機関、企業及び金融機関」など、複数の主体によるコラボレーション（理論と実務の融合）を通じて、より高度で多角的な視点による課題解決を図っていきます。

(3) 都市間連携の推進

各都市が持つ特性を活かし、新たな魅力を創出するため、近隣都市や旧軍港市との連携を推進します。

ア 近隣都市との連携

【広島市を中心とする連携】

広島市を中心とする「連携中枢都市圏」の構築に参画し、構成都市が一体となって、圏域全体の様々な生活関連機能サービスの向上を図っていきます。

【呉市を中心とする連携】

呉地域観光連絡協議会（呉市、江田島市、熊野町、坂町）や呉地域オープンカレッジネットワーク会議（呉市、坂町）などを通じて、共通する課題の解決に向けた更なる連携強化を図っていきます。

イ 旧軍港市との連携

旧軍港4市に残る歴史的遺産の共通ブランド化を通じて、新たな魅力づくりや観光・交流の促進を図っていきます。

5 リーディングプロジェクト

1 趣旨

基本目標の実現に向け特に重点的に取り組む事業について、まち・ひと・しごと創生に係る「リーディングプロジェクト」として位置付け、積極的に推進するとともに、民間など多様な主体との連携を図りながら、まち・ひと・しごと創生の取組を充実させていきます。

2 リーディングプロジェクトの概要

1 働きやすさの向上～しごとづくり～

【目標】20～30歳代の「仕事」理由の転出超過数 3分の2改善

① 積極的な企業誘致・留置活動の展開

積極的な企業誘致を展開し、産業の集積と雇用の創出を図るとともに、市内企業の設備投資を促進し、市内操業の継続と雇用の安定を図ります。

(新)企業の本社機能の移転等促進 —
 (新)市内企業による設備投資の促進 —
 積極的な企業誘致活動の展開 3,000万円
 企業立地の推進 22.1億円

産業団地への新たな立地企業数 H27～H31：10件

② 都市ブランド力の向上

大和ミュージアム周辺のにぎわいづくりや旧海軍遺産の活用など、呉らしさ(呉の特色)を活かした都市ブランド力の向上により多くの人が集い交流する場を創出し、消費拡大や雇用創出を図ります。

(新)戦艦「大和」のふるさと・くれブランドの向上 1.0億円
 (新)日本遺産登録申請(旧軍港4市との連携) —

入込観光客数 H26：308万人 → H31：340万人

③ 第3次産業の魅力向上

商業施設の新たな出店奨励や観光を始めとする新たなサービスの提供の促進など、第3次産業の裾野の拡大を図り、雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。

(拡)商業施設等の活性化支援 11.6億円
 (拡)周遊・滞在型観光の推進 7,300万円

新規出店・新サービス実施件数 H27～H31：80件

④ 産地育成・ブランド化の推進

製品のブランド力向上や6次産業化、販路拡大などを総合的に展開することにより、農水産業の担い手の確保や耕作放棄地の有効活用、経営基盤の強化などを図ります。

(拡)産地育成・産地消の推進 4,500万円
 (拡)農水産品のブランド化・6次産業化の推進 4,200万円

6次産業化事業数 H27～H31：5件

⑤ 未来を担う人材の育成

介護や看護、保育などの職に就くことを目指して学ぶ学生が、卒業後、市内の事業所等に就職しやすくなるよう支援することにより、専門職の人材の確保と若年層の市内定着を図ります。

(新)福祉医療人材(介護・看護・保育)養成確保奨学金の創設検討 —

福祉医療人材(介護・看護・保育)養成確保奨学金の創設

2 育てやすさの向上～ひとづくり～

【目標】年間出生者数 H31：1,800人

⑥ 「妊娠・出産・子育て」の切れ目のない支援

子育て世代包括支援センターを設置し、産前産後における様々なニーズにきめ細かく対応することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を創出します。

(新)妊娠から出産・育児までの包括支援 6,400万円
 (新)不妊治療の支援 1.8億円

子育て中にストレスを感じる親の割合
 H25：87.4% → H31：82.0%

⑦ 子育て家庭の応援

保育サービスや放課後児童会の充実などにより、多様化する子育てニーズに対応するとともに、子どもの健やかな育ちを後押しします。

(拡)子育て支援センターの充実 1.0億円
 (拡)ファミリー・サポート・センター事業の充実 4,200万円
 (拡)保育サービスの充実 4.1億円
 (拡)放課後児童会の充実 8,100万円

ファミリー・サポート・センター利用件数
 H26：2,107件 → H31：2,300件

⑧ 小中学校教育の充実

小中一貫教育の更なる推進を図るとともに、呉市の特性を活かした教育活動として、本物体験等の活動を充実させ、「確かな学力」の向上、「豊かな心」「健やかな体」を育てていきます。

小中一貫教育の推進 1.6億円
 (拡)特色ある呉の教育の推進 7,500万円

将来に夢や希望を持っている子どもの割合
 (小学生) H26：92.9% → H31：95.0%
 (中学生) H26：78.4% → H31：80.0%

⑨ 大学と連携したアスリートの育成

日本体育大学と連携して、大学が持つ知識や技術、人材を活用した技術指導を行うことにより、子どもたちの競技力の向上を図ります。

(新)大学と連携したアスリートの育成 700万円

全国大会出場件数 H26：32件 → H31：40件

3 暮らしやすさの向上～まちづくり～

【目標】呉市を住みよいと感じる市民の割合 H26：70%→H31：80%

⑩ 定住サポートの総合窓口化

定住・移住を支援する定住サポートセンターの総合窓口化を推進することにより、定住・移住希望者への情報提供や相談体制の充実を図ります。

定住サポートセンターの充実 —

空き家バンク登録物件の成約件数 H27～H31：70件

⑪ 定住・移住促進

若年層が市内で住宅を取得しやすいよう支援するとともに、空き家の利活用を促進することにより、市外への転出抑制と市外からの転入促進を図り、人口社会減の抑制に結び付けます。

(新)子育て世帯の定住支援 8,000万円
 (新)移住希望者の住宅取得支援 8,000万円
 (新)空き家家財道具等処分支援 2,000万円
 (新)学生シェアハウス支援 400万円

若年層の住宅取得件数 H28～H31：200件

⑫ 健康寿命の延伸

気軽に健康づくりに親しむ環境を整えるとともに、恵まれた医療環境を活かした生活習慣病の重症化予防や地域包括ケアの推進により、市民の健康寿命の更なる延伸を図ります。

地域総合チーム医療の推進 1.2億円
 地域包括ケアの推進 15.3億円
 (新)大学と連携した健康づくり普及促進 400万円

平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

⑬ 呉市版CCRCの検討

東京圏を始めとする地域から移り住んだ元気な高齢者が、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護サービスを受けることができる「呉市版CCRC」の導入検討を進めます。

(新)呉市版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討 500万円

呉市版CCRC推進協議会の設置

※ 事業費は、5年間の概算額